

様式第 1

根拠法規	とうもろこし等の関税割当 制度に関する省令第 1 条
主務官庁	農 林 水 産 省

関 税 割 当 申 請 書

※受付番号

※受付年月日

申請者氏名 (名称) ○○○○株式会社 電話番号 ○○-○○○-○○○○

申請者住所 ○○県○○市○○町○番地○

記名押印又は署名 代表取締役 ○○○○ ⑨ 資格 第○-○

申請年月日 平成○○年○○月○○日

申請の明細

関税率 表番号	品 名	数量及び単位	実 績		主な使用の計画	備 考
			使 用	輸 入		
(例) 1107.10	(例) 麦 芽	○○トン	○○トン	○○トン	(例) ビール用 ○○トン	

- 注 1 用紙の大きさは A 列 4 番とすること。  
 2 ※印のある欄には記入しないこと。

〈記入上の留意点〉

「関税割当申請書等の記載要領について」に定めるほか、関税割当申請書受付の担当課の指示がある場合を除き以下によるものとする。

- 「記名押印又は署名」欄：法人の場合の押印は、代表者の印として法務局で登記された印を押印し、電子印及び複写は不可とする。
- 「資格」欄：「関税割当申請書等の記載要領について」の 1 の (3) に定めるほか、申請時点において効力を有する関税割当公表の「関税割当申請者の資格」に掲げる資格要件が複数ない場合は、本欄への記入は要しないものとする。
- 「実績」欄：この関税割当てによる輸入（使用には前年度期初在庫を使用した数量及び販売し

た数量を含む。) 数量を記入し、枠外税率及びEPA関税割当て(以下「EPA関割特惠税率」という。)による輸入数量を除いて記入すること。

なお、前年度又は前期に使用又は輸入がない場合は、それぞれの欄に「0」と記入すること。前年度又は前期に関税割当てによる輸入はないが、枠外税率及びEPA関割特惠税率による輸入がある場合は、「輸入」欄に「〇〇トン(枠外又は(及び)EPA関割)」と記入すること。

- 4 「主な使用の計画」欄には、本申請時点において計画している主な用途(例 ビール用、販売用)及び数量を記入すること。